

令和8年4月24日

関係団体（クラブチーム・道場等）指導者 各位

千葉県柔道連盟 審判部長
黒崎 学

令和8年度千葉県柔道連盟主催少年大会における適用規程について

平素より本連盟の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記大会における試合運営につきましては、「国際柔道連盟審判規程」を基本とし、「少年大会試合審判規程」を適用いたします。

つきましては、各規程等の改正点および運用上の留意事項を下記のとおり整理いたしましたので、関係各位にご周知いただくとともに、適切な運用にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、大会の運営にあたっては、「正しい柔道」の実践と、発育発達段階にある少年の安全確保を最優先にご配慮くださいますようお願いいたします。

記

1. 国際柔道連盟審判規程に関する留意事項

2026年1月26日に国際柔道連盟(IJF)より試合審判規程の改訂が発表されたが、千葉県においては、改訂前の国際柔道連盟審判規程(2025年1月1日施行のもの)を適用する。

2. 少年大会試合審判規程に関する留意事項

本大会においては2026年改正の少年大会審判規程を適用する。

- ① 倒れ込む技については「掛け逃げ」(バットアタック)を的確に見極め、安全管理に努めること。
- ② 寝技から立技への移行については、両者が互いに向き合っている(Face to face)状態のみ継続する。
- ③ 安全地帯での「抑え込み」に不平等が生じた場合は「待て」を宣告し、抑えていた時間に応じてポイントを与える。

3. 大会申し合わせ事項

安全確保の観点から、以下の行為については反則負けとする。

- ① ユージングザヘッド(通称)
- ② ヘッドディフェンス(通称)

以上